

ふれあいバンク

TOWA 東和銀行

2026年3月期

通期業績予想修正の説明資料

証券コード：8558

2026年3月期 通期業績予想の修正及び配当予想

- 国内金利は上昇傾向にあり、貸出金利回りの改善や有価証券の再投資による利回り向上が見込める状況。
- 運用サイドのポートフォリオの積極的な入れ替えが、将来の金利リスクを抜本的に低減するとともに、当行の収益力を高め、企業価値の向上に繋がると判断。

通期業績予想の修正

(単位：億円)

		前回発表予想 (2025年11月4日)	今回修正予想	増減額
連結	経常利益	35	△300	△335
	親会社株主に帰属する当期純利益	35	△260	△295
	1株当たり当期純利益	98円17銭	△729円27銭	—
単体	経常利益	35	△300	△335
	当期純利益	35	△260	△295
	1株当たり当期純利益	98円17銭	△729円27銭	—

配当予想 (変更ございません)

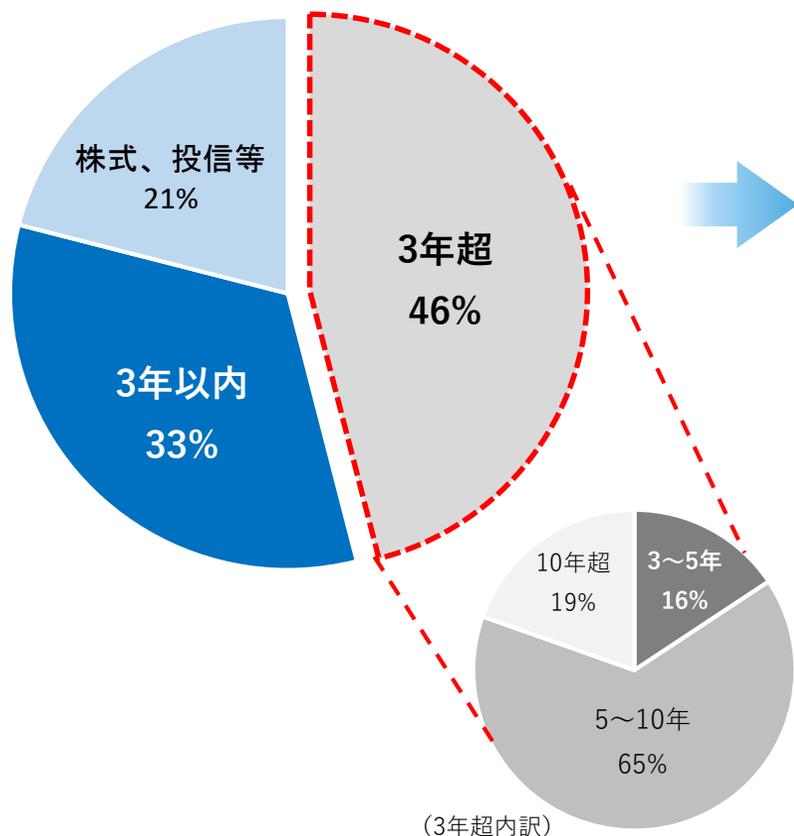
	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2025年3月期	0円00銭	35円00銭	35円00銭
2026年3月期予想	0円00銭	35円00銭	35円00銭

(前回発表予想 35円00銭)

- その他保有目的有価証券のうち、原則として残存年数が3年超の有価証券を売却予定。
- 有価証券の売却によって得た資金の再投資により有価証券利回りの改善と、平均残存年数の短期化を図る。当面は新規投資を2年以下の国債等を中心とする方針。
- リスク管理態勢を見直し、リスクへの対応力を強化する。

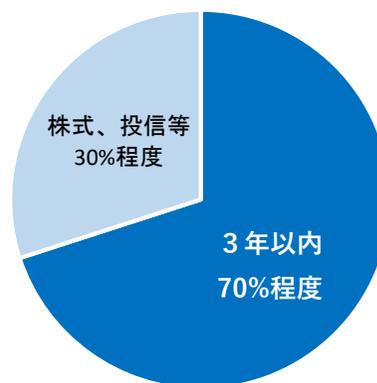
残存年限別ポートフォリオ

(2026年2月末)



今後のポートフォリオ (想定)

(2~3年後の想定)



	2026年2月末	2~3年後
利回り (平均)	約0.5%	1.2%程度
残存年数 (平均)	約5.2年	2年程度

リスク管理態勢

リスク管理態勢の高度化および強化に向けて以下の対応を2026年度中に実施する。

- ・ 経営陣によるリスクガバナンスの強化
- ・ リスク管理規程の見直し (ハードリミットの新規設定およびソフトリミットの厳格化等)

その他有価証券の残高および評価損益の状況

- 今回の一括処理により、その他有価証券の評価損益は大幅に改善する見込み。
- 有価証券売却により約2,000億円の運用原資が生まれる。

売却銘柄と残高・評価損益（億円）

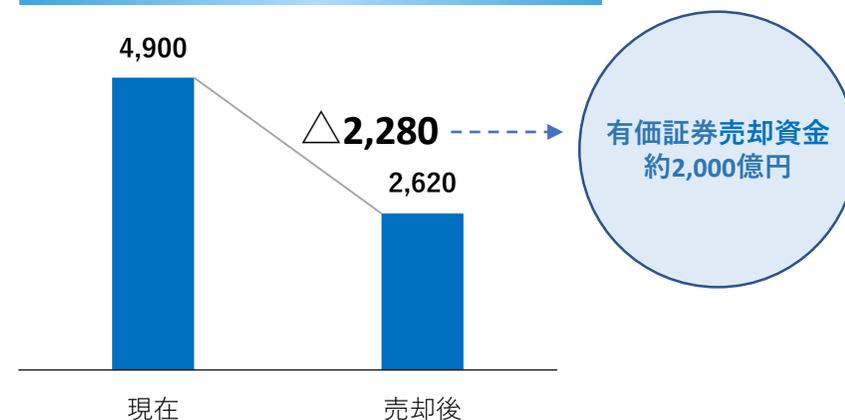
その他有価証券	2026年2月末		売却後見込	売却後見込	
	残高	評価損益		残高	評価損益
国債	480	△ 40	200	0	
地方債	1,000	△ 140	70	0	
政保債・公社公団債	950	△ 170	70	0	
事業債	860	△ 20	750	△ 10	
その他	630	△ 10	570	△ 10	
株式	90	120	70	80	
投信	820	△ 60	820	△ 60	
出資証券	70	0	70	0	
その他 小計	4,900	△ 320	2,620	0	

※満期保有目的の有価証券は除く。

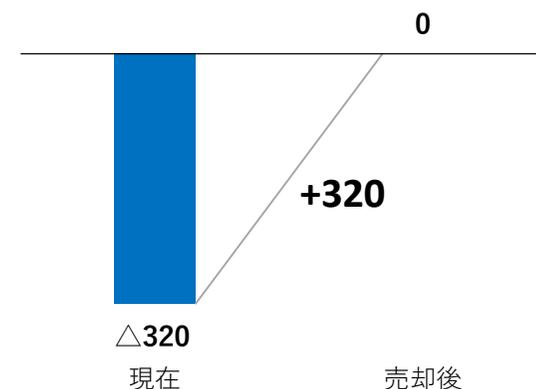
※上記表は概算値。表上にて計算。

大幅に改善

その他有価証券 残高（億円）

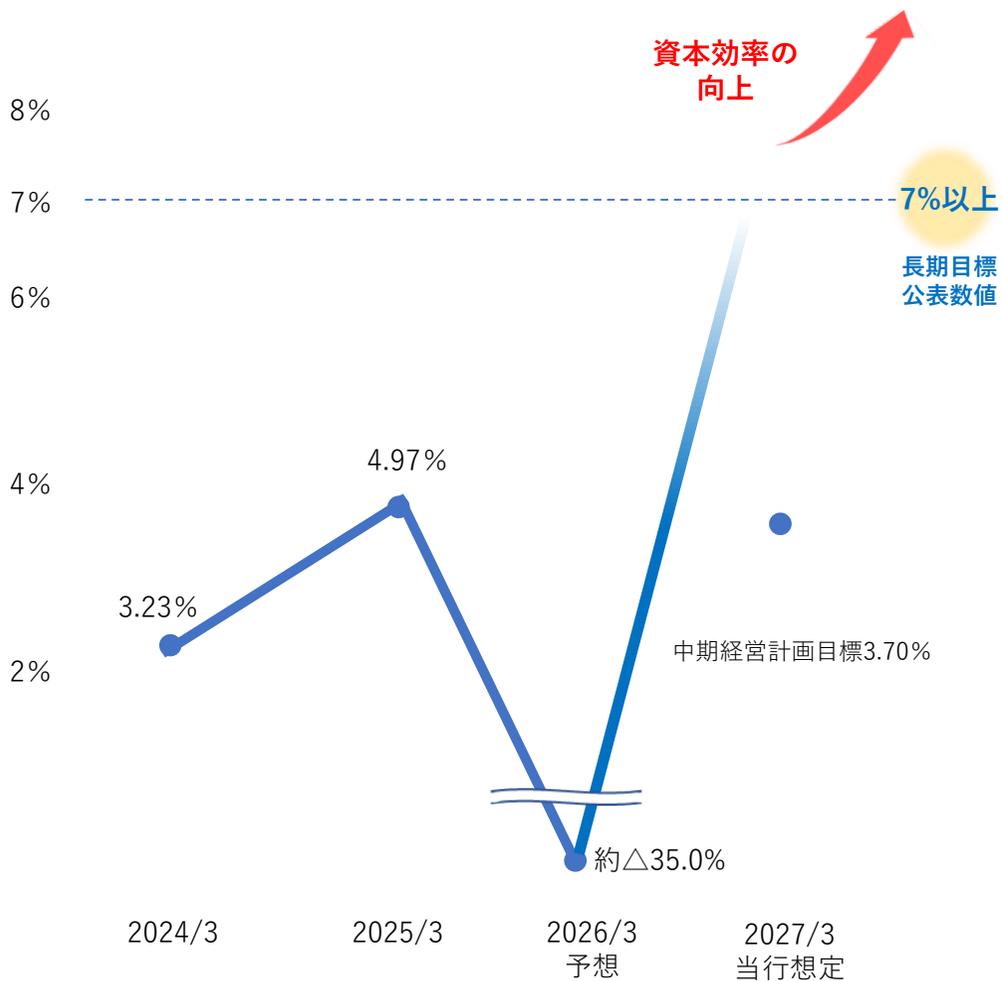


その他有価証券 評価損益（億円）

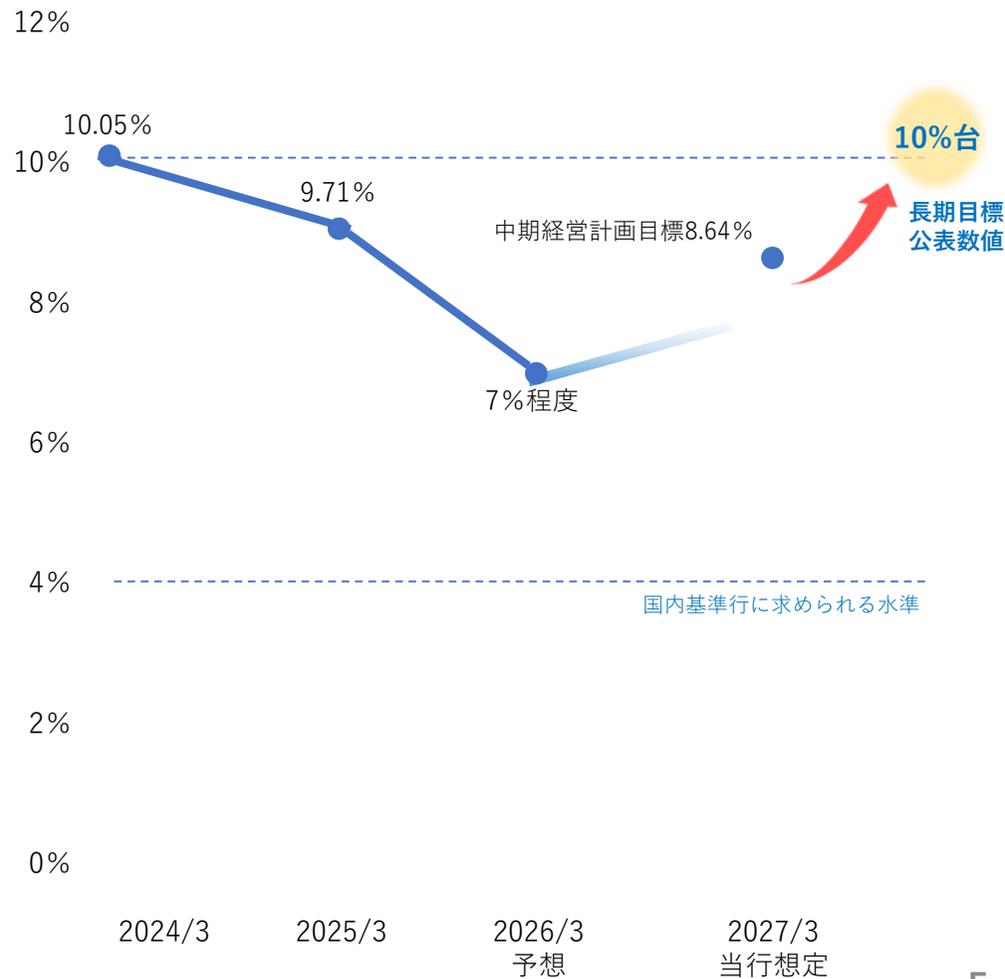


- 運用サイドのポートフォリオ入替により、ROE（資本効率）は大幅な向上を見込む。
- 自己資本比率（健全性）は低下するものの国内基準行に求められる4%を大きく上回り、問題ない水準。

ROE（資本効率）



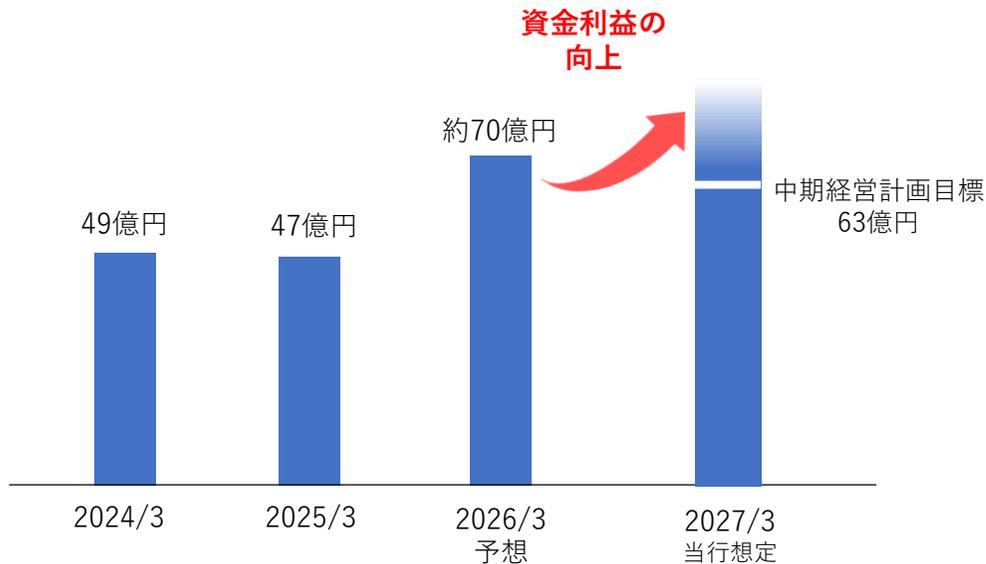
自己資本比率（健全性）



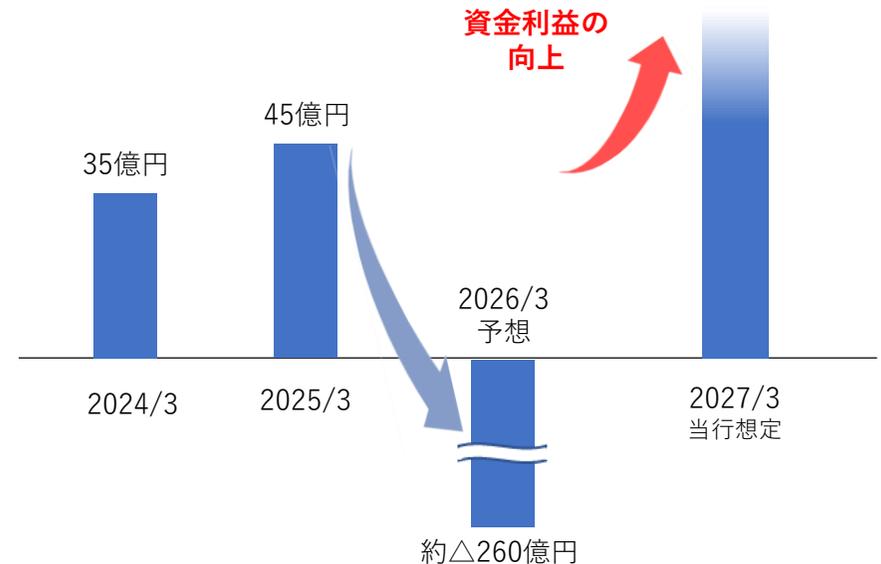
収益性について

- 地域のお客さまへの貸出の増加および再投資による有価証券利回りの改善により、資金利益が向上する見込み。
- 2027年3月期のコア業務純益は中期経営計画の目標値を上回る見込み。
- 2027年3月期の当期純利益は大幅に上昇し、黒字回復を見込む。

コア業務純益

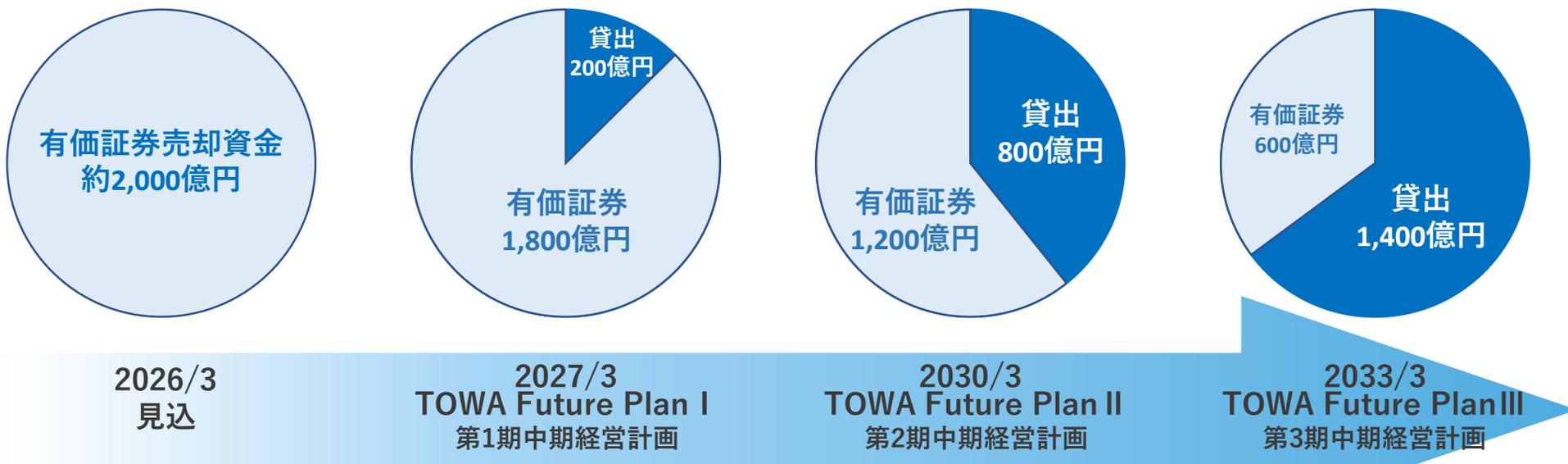


当期純利益

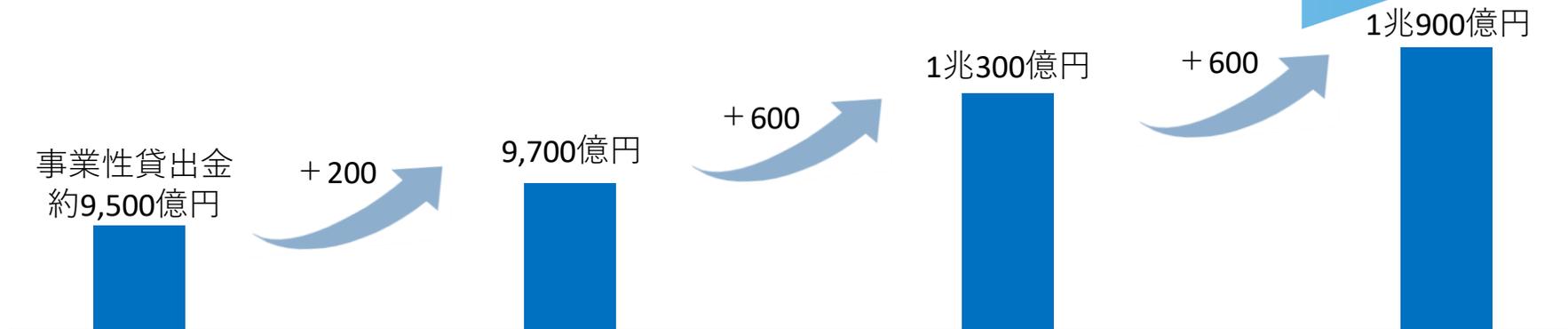


- 今回の有価証券売却資金を原資として、地域のお客さまに対する金融仲介機能をより一層強化。
- 毎年200億円程度を地域への貸出（事業性貸出金）にシフトする計画。

運用のバランス



事業性貸出金の推移



当行の店舗網と顧客基盤

- パーパスの実践とTOWAお客様応援活動の更なる強化。
- 1都3県の広域で恵まれた営業エリア。
- 当行の主要エリア、群馬県、埼玉県、東京都に築いた強固な顧客基盤。

恵まれたエリア、バランスの良い貸出

〈91店舗の都県別分布〉

〈総貸出残高約1兆6,000億円の都県別構成〉

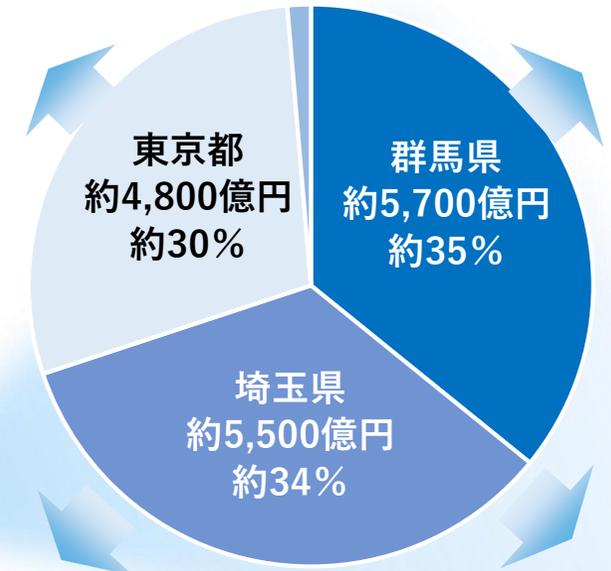


私たちは、
地域のお客さまに寄り添い、
ともに豊かな未来を創造します。

パーパス



TOWAお客様応援活動



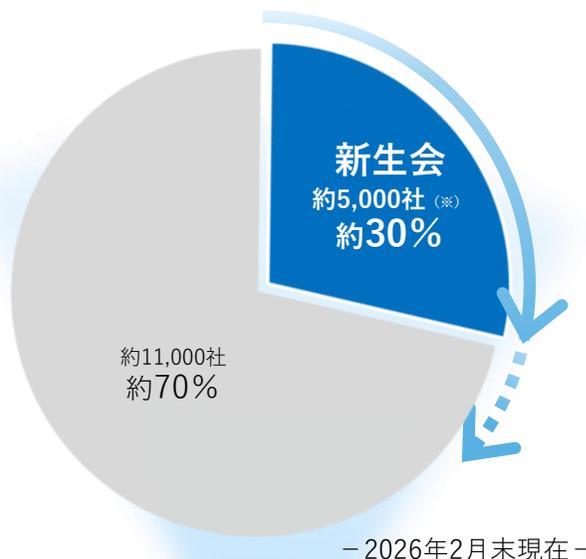
- 2026年2月末現在 -

東和銀行の強み 「東和新生会」

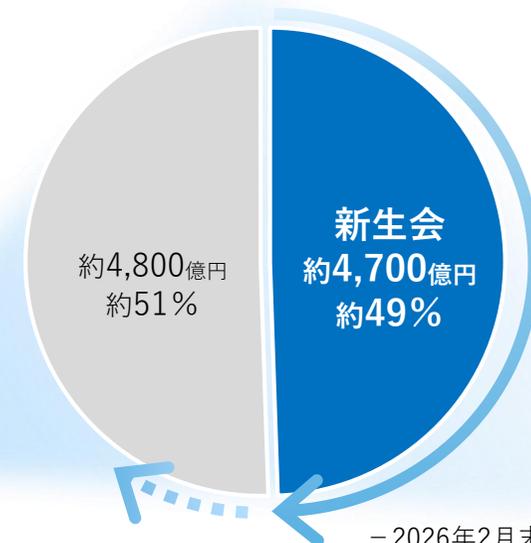
- 「東和新生会」とは、会員の相互発展を目的としてお客さまにより構成されている組織。
- 設立以降、会員数は順調に増加し、足許では6,400社にのぼる。
- 地域のお客さまとのリレーションを確立。

お客さまとのつながり 「東和新生会」

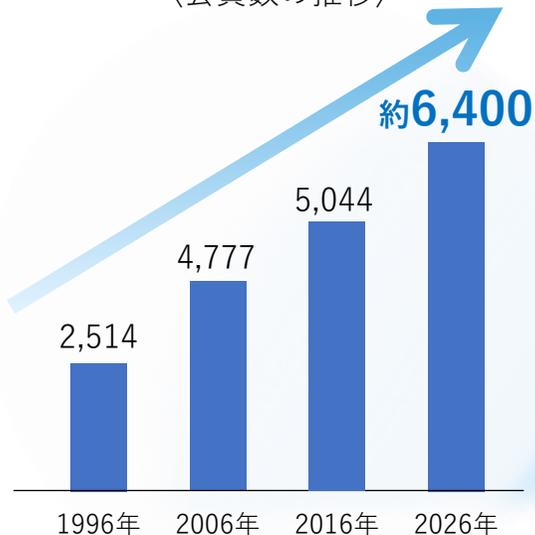
〈事業性貸出先約16,000社に占める比率〉



〈事業性貸出金約9,500億円に占める比率〉



〈会員数の推移〉



※約6,400社のうち、事業性貸出のある会員数は約5,000社

パーパス



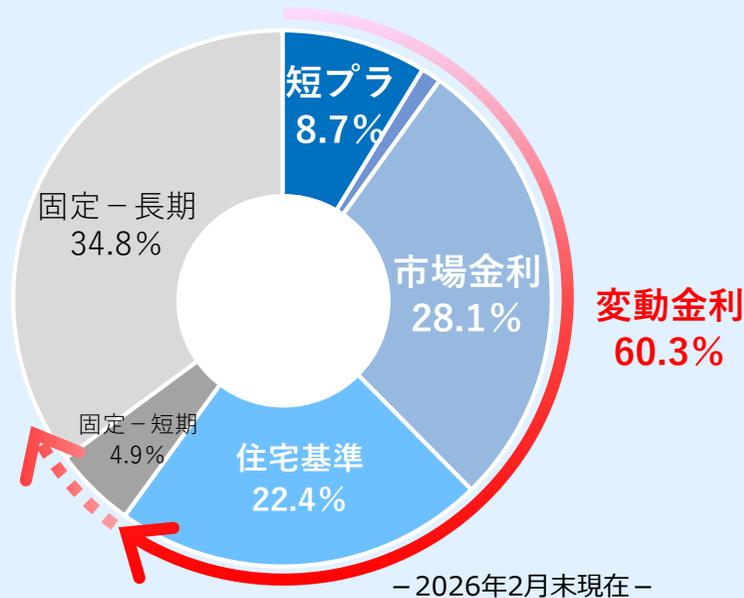
TOWAお客様応援活動

お客さまとのリレーションの成果

- 地域のお客さまとのリレーションの深化により、貸出に占める変動金利の割合を更に高め、金利感応度の高い貸出金利を実現。
- 今後も適正な貸出金利回りを維持しながら、有価証券売却資金を活用し、地域のお客さまへの貸出を増加させていく。

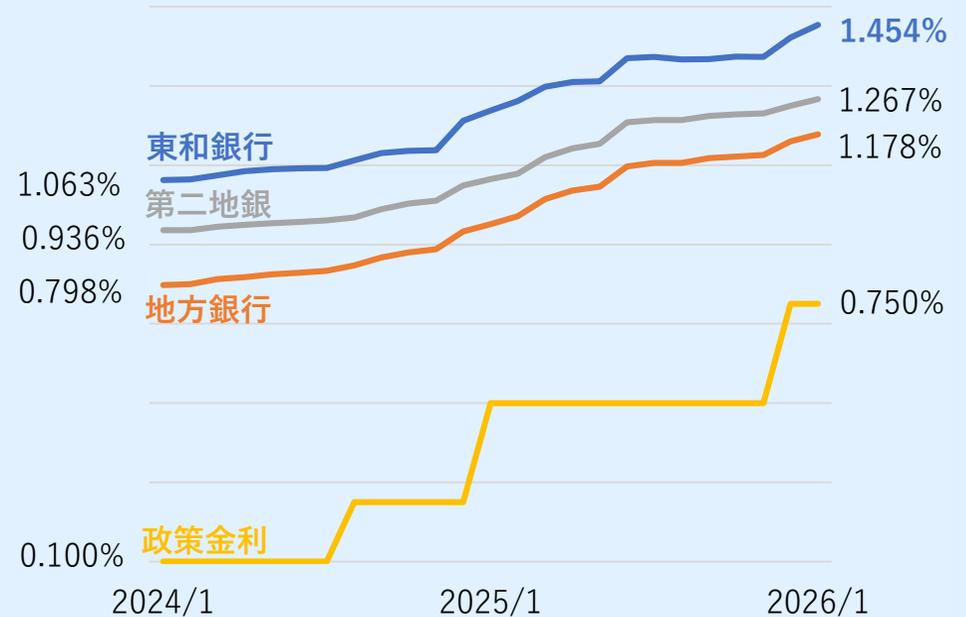
金利感応度の高い貸出金利構成

〈総貸出残高約1兆6,000億円に占める変動金利割合〉



良好な貸出金利回り

〈貸出金利回りの推移〉



出所：日本銀行の公表データより当行にて作成

ふ れ あ い バ ン ク



<お問い合わせ先>

株式会社東和銀行 総合企画部

企画・広報 齋藤

e-mail 91003@mb.towabank.co.jp

Tel 027 (230) 1502